

くらしの場検討委員会

「将来の生活についての意向調査（保護者向け） の調査結果についてのご報告」

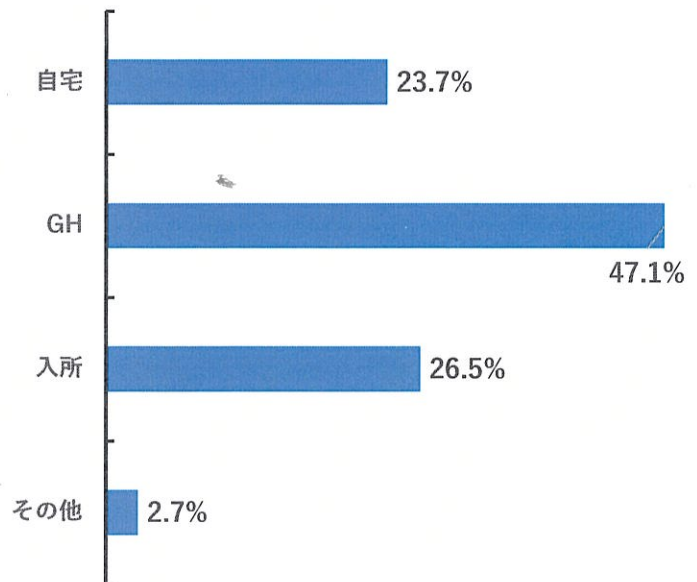


令和4年3月23日発行
生活支援部会
くらしの場検討委員会

- ・ 調査対象 「(社福)仙台市手をつなぐ育成会」が運営している通所サービス事業所（生活介護、就労B型）を利用し、ご自宅で生活をされている利用者様のご家族(ご両親やご兄弟等)を対象に実施。
※配布や回収については、各事業所に協力を依頼。
- ・ 回答方法 選択回答方式
※調査対象者が選ぶ選択肢があらかじめ作成されている方式
- ・ 回答総数 327件

設問1 << 将来の生活の場所（複数回答可） >> 回答数 452件
 ※全回答者対象

項目	回答数	%
自宅	107	23.7%
GH	213	47.1%
入所	120	26.5%
その他	12	2.7%



「その他」の回答内容（自由記述）

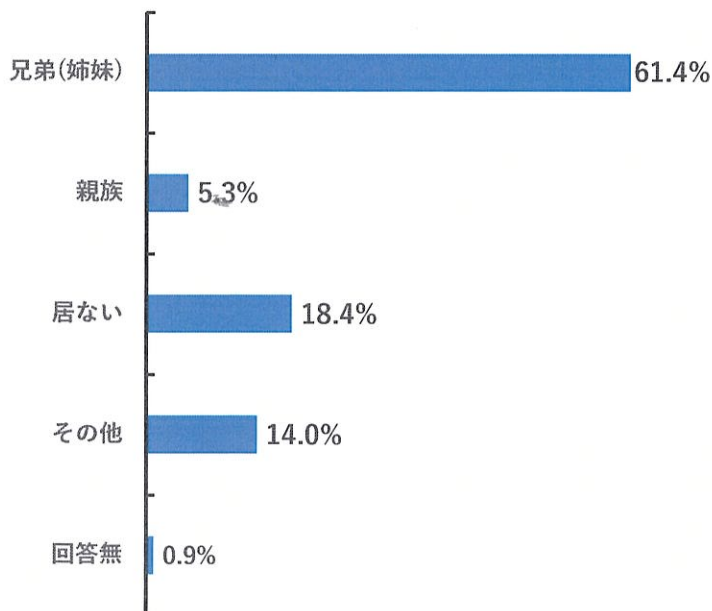
記入無し	5
わからない、教えて欲しい	2
老人ホーム	3
考え中	1
親子で入所施設	1

「考察」

全体の傾向として、将来の生活の場としてグループホーム(以下GH)への入居を考えているご家族が約半数と最多となっています。その他の部分で、「老人ホーム」「親子で入所」という介護保険等の高齢者福祉の利用なども視野に考えておられる意見も少数ながら見られましたが、「障害」と「介護」の制度間の違いもあるため、利用が可能かどうかも含めて考えていく必要があります。

設問2 << (両親以外で)自宅でサポートする方 (複数回答可) >> 回答数 114件
※設問1で自宅と答えた方のみ対象

項目	回答数	%
兄弟(姉妹)	70	61.4%
親族	6	5.3%
居ない	21	18.4%
その他	16	14.0%
回答無	1	0.9%



「考察」

自宅での生活を継続する場合に、ご両親以外にサポートする方となると圧倒的に「兄弟(姉妹)」という結果になっています。

この項目については、各ご家庭の状況や家族間の関係性も関係してくるので、結果だけを見てよし悪しの判断は出来ませんし、今後どの様にしたら良いかは断言出来ませんが、ご本人が自宅で生活を続ける上で、何かしらのサポートが必要であり、その大部分を現在はご両親が担っており、将来的にはその役割を誰かが担っていかなければならないという事実を改めて示していると思われれます。

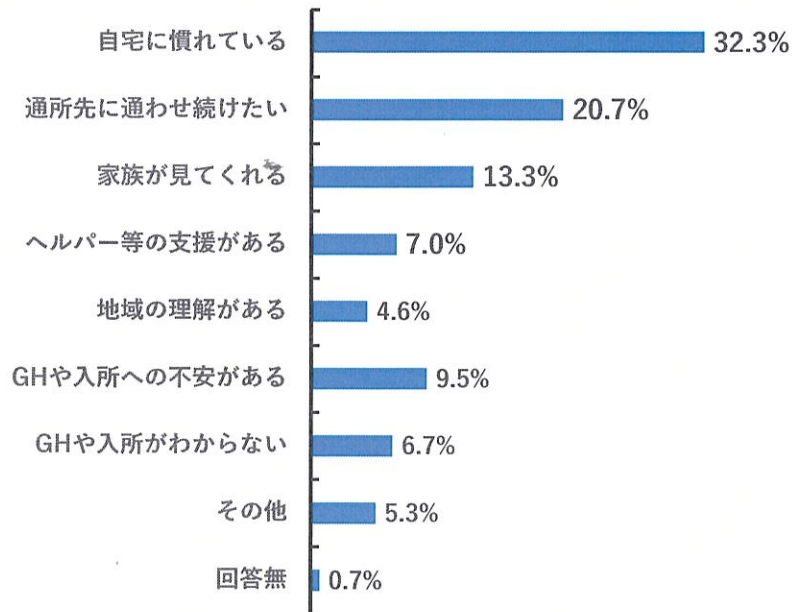
その中で、「居ない」「その他」が合せて30%を超えており、この数字をどのように読み解いていくべきかは、今後の検討課題になると考えております。

※設問2の「その他」については、今回は記述を求めていなかったもので、改めての調査も含めて部会内で検討して参ります。

設問3 << 自宅で生活を続けさせたい理由（複数回答可） >> 回答数 285件

※設問1で自宅と答えた方のみ対象

項目	回答数	%
本人が自宅に慣れているから。	92	32.3%
今の通所先に通わせ続けたいから。	59	20.7%
家族が本人を見てくれるから。	38	13.3%
ヘルパー等の自宅での支援があるから。	20	7.0%
住んでいる地域の理解があるから。	13	4.6%
GHや入所施設への不安があるから。	27	9.5%
GHや入所施設がよくわからないから。	19	6.7%
その他	15	5.3%
回答無	2	0.7%



「考察」

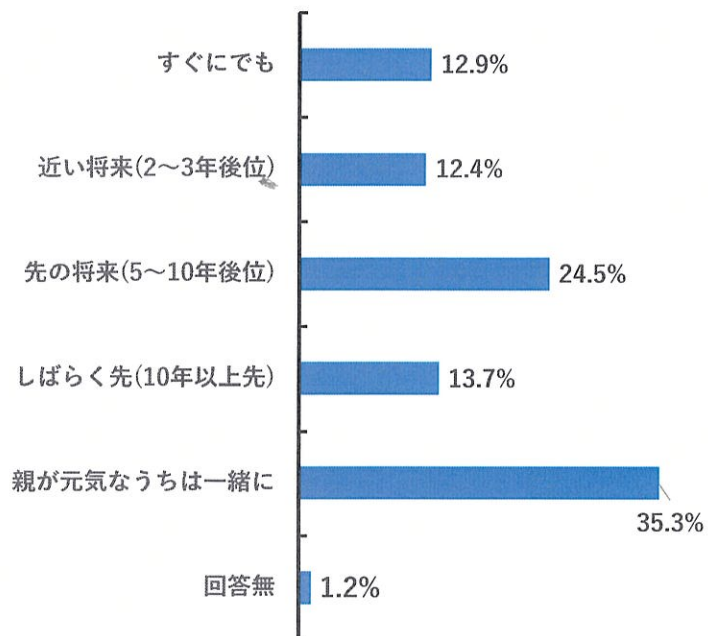
「本人が自宅に慣れているから」「今の通所先に通わせ続けたいから」が合せると回答数の半数を超えており、「自宅での生活を継続する＝変化を本人に与えたくない」というご家族の想いの表れかと思われま

す。
生活面の変化の中では、住む場所が変わるという事は大きな部分になるので、当然の結果という受け止めもあります。

一方で、住む場所に変化は無くとも、家庭内の状況の変化という場合も想定されるため、そういった点への対応も考えていく必要があることを、改めて認識させられる結果となっています。

設問4 <<GHへの入居時期（複数回答可）>> 回答数 249件
 ※設問1でGHと答えた方のみ対象

項目	回答数	%
良い所があればすぐにでも。	32	12.9%
近い将来。（2～3年後位）	31	12.4%
先の将来。（5～10年後位）	61	24.5%
しばらく先（10年以上先）	34	13.7%
親が元気なうちは一緒に居たい。	88	35.3%
回答無	3	1.2%



「考察」

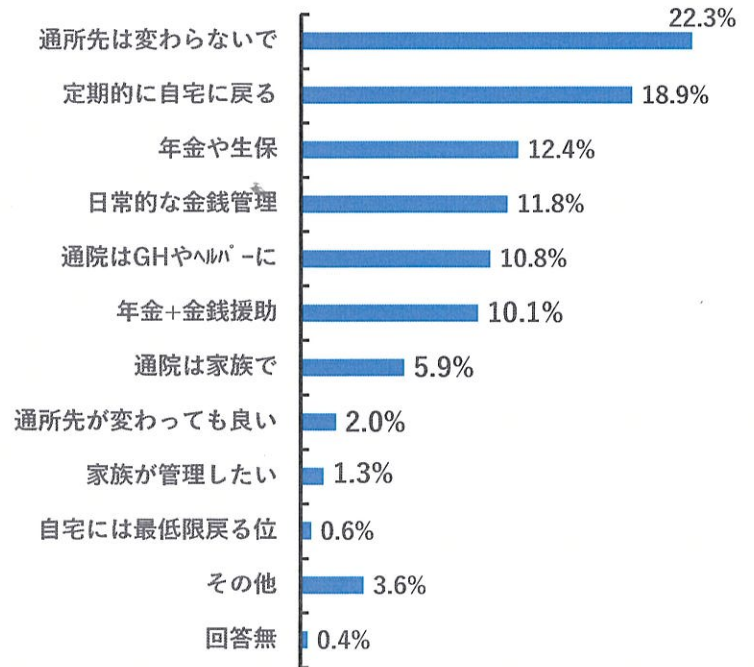
GHへの入居時期については、「今すぐ・2～3年の内」が回答者の4分の1ほどを占めており、早期の入居の意向を抱いているご家族が一定数いるという結果となっています。

一方で「親が元気なうちは一緒に居たい」という回答が最多となっているなど、その他の設問とは違い、回答に一番ばらつきが出た設問になっております。

当然ではありますが、ご両親が本人の将来を考えていく上で、様々な気持ちを抱えながら進めていることを表す結果になったと思われます。

設問5 <<GHへ入居する際の希望（複数回答可）>> 回答数 785件
 ※設問1でGHと答えた方のみ対象

項目	回答数	%
通所先は変わらないで欲しい。	175	22.3%
定期的に自宅に戻る機会が欲しい。	148	18.9%
障害年金や生活保護を利用したい。	97	12.4%
日常的な金銭管理をして貰いたい。	93	11.8%
通院はGHやヘルパーにお願いしたい。	85	10.8%
障害年金+家族の金銭援助で生活して欲しい。	79	10.1%
通院は家族が行いたい。	46	5.9%
GHに入れるなら通所先が変わっても良い。	16	2.0%
細かな部分まで家族が管理をしたい。	10	1.3%
自宅には最低限(盆正月等)戻る位が良い。	5	0.6%
その他	28	3.6%
回答無	3	0.4%



「考察」

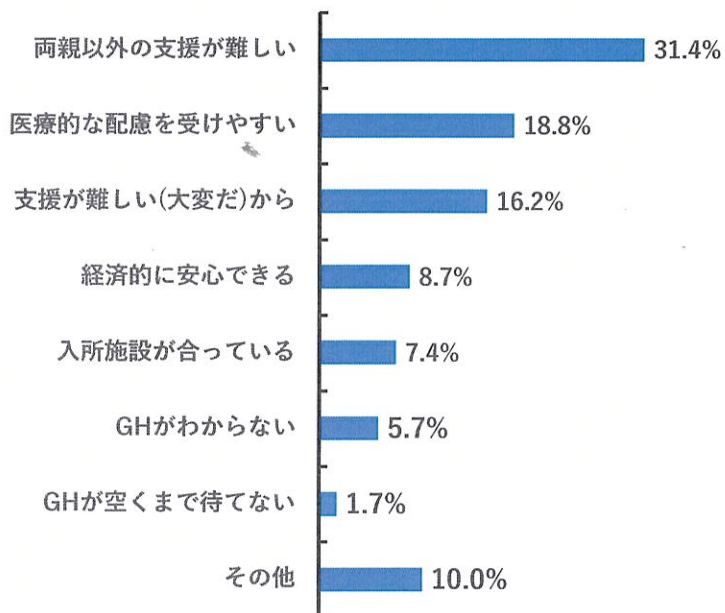
設問1で「グループホーム（GH）」の回答が213件だったのに対して、この設問の回答数が785件であったことから、ご家族がGHに臨んでいる事柄が多いことがわかります。

その中でも2番目に多かったのが「定期的に自宅に戻る機会が欲しい」でありました。生活を支えるサービスであるGHに臨むものは、当然生活面での支援になると思っておりましたので、「利用に掛かる費用」「金銭管理」「生活全般の支援」「通院」などの項目が上位に来るのではと思っておき、部会としては意外な結果と感じました。

GHへの入居後の、ご本人とご家族の関わりの部分も将来の生活を考える上で、より重要な視点であるのご家族が考えているということでもあるため、今後の部会の中でも新たな気づきとして活かしていきたいと思えます。

設問6 入所施設を選択している理由（複数回答可）≫ 回答数 229件
 ※設問1で入所と答えた方のみ対象

項目	回答数	%
両親以外が支援をすることが難しいから。	72	31.4%
医療的な配慮を受けやすい。	43	18.8%
本人の支援が難しいから(大変だから)。	37	16.2%
経済的に安心できる。	20	8.7%
入所施設が本人に合っているから。	17	7.4%
GHがどういう所かわからない。	13	5.7%
GHが空くまで待てない。	4	1.7%
その他	23	10.0%



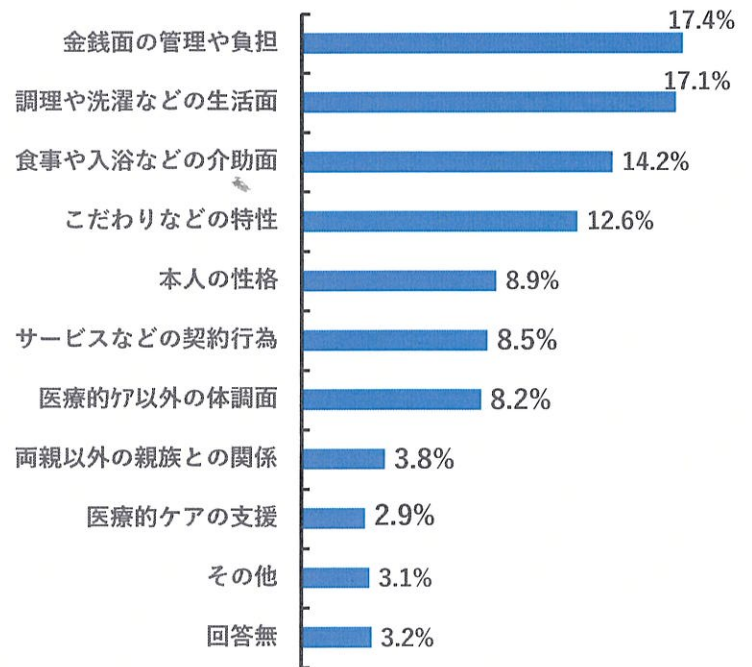
「考察」

入所施設の選択理由は、「両親以外が支援することが難しい」がもっとも多い回答数となっており、ご本人への支援について、特に生活の場での支援について難しさを感じているご家族が多くいると考えられます。

設問1においても、327件の回答総数の内、3割以上の120件の回答があったことから、将来の生活の場を考えていく上で、自宅やグループホームと並び、入所施設が重要な位置を占めている状況が見えてきます。

設問7 <<将来の生活において不安なこと（複数回答可）>> 回答数 1,116件
 ※全回答者対象

項目	回答数	%
利用料や生活費を含む金銭面の管理や負担。	194	17.4%
調理や掃除、洗濯などの生活面。	191	17.1%
食事や入浴、排せつなどの介助面。	159	14.2%
こだわりなどの特性。	141	12.6%
本人の性格。	99	8.9%
サービスなどの契約行為。	95	8.5%
医療的ケア以外の体調面の配慮が必要。	92	8.2%
両親以外の親族との関係。	42	3.8%
医療的ケアの支援。	32	2.9%
その他	35	3.1%
回答無	36	3.2%



「考察」

この設問においては、パーセンテージにすると低い数値が多くなっておりますが、回答数で見た場合、90件を超える回答が半数以上となっており、本人の生活を支える上で必要な事柄が多岐にわたっており、ご家族の心配な点もそれに比例していると思われれます。

「まとめ」

くらしの場検討委員会としては、今回の意向調査を次年度以降の活動に活かし、「よりその方らしく、より豊かに生活していくために、どのようなサポートがあれば良いか」を考えてまいりたいと思います。

今回の調査にご協力いただいたご家族の皆様、誠にありがとうございました。